

クローバーバスの運営移行について

NPO中越防災フロンティア
事務局

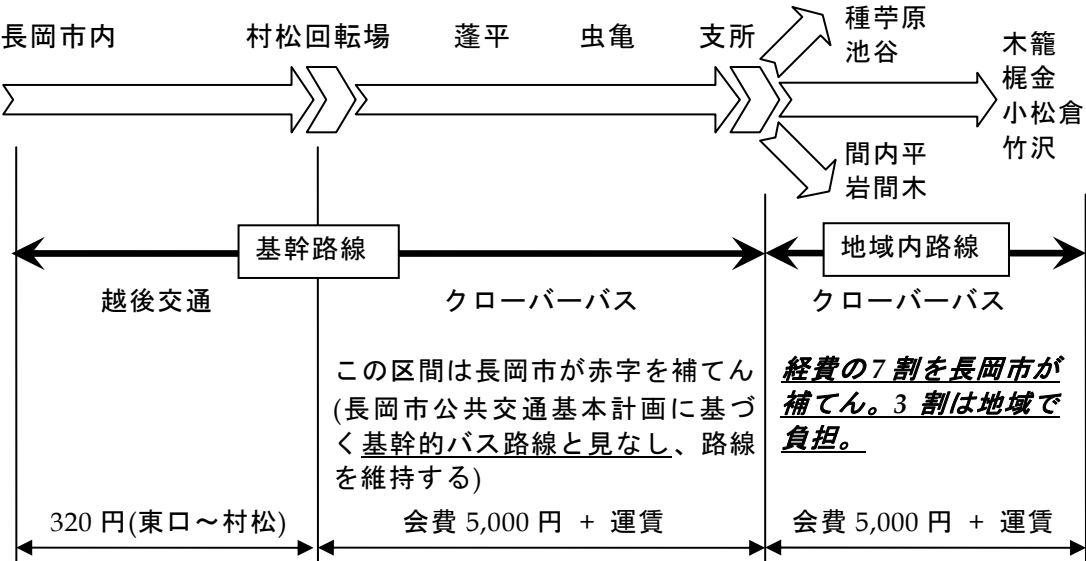
1. クローバーバス運営移行準備検討委員会

(1) これまでの経緯

- H22年8月 第一回を開催。委員会の設置目的や今後の予定などを協議。
- H23年8月 基金終了後の長岡市の補てんや地域の負担について方針を提示。また、教育委員会が運行するスクールバスとの統合を検討し、財源の確保を検討していくことを確認。
- H23年10月 長岡市の補てん割合や地域の負担割合について継続的に協議し、具体的な数値を示して試算を開始。また、長岡市の総合特区の申請の動向を報告。
- H23年12月 クローバーバスの運営事務局の将来像について検討(予定)

(2) H23年度の準備委員会での検討結果(途中)

- ① 会費収入だけに頼らない仕組み(有償化)
 - ・ 年会費は継続しつつ、受益者負担の原則に基づく利用者全員から運賃を徴収する。
 - ・ イベント開催時の送迎や、特産物・農産物の搬送にバス車両を活用し事業収入を得る。
- ② 機能別路線に対する長岡市の財政支援
 - ・ 長岡駅～村松線と村松～蓬平～山古志支所線を、市の基幹的バス路線と見なし、市が県の補助制度を活用し路線を維持する。
 - ・ 山古志地域内を運行するクローバーバスについて、市が運行経費の7割を補てんする。
- ③ 地域内生活交通の効率化
教育委員会が運行する通学タクシーと、クローバーバスを統合して一本化することによって、効率的な運行と経費の削減を図る。



2. クローバーバスの運営組織の検討

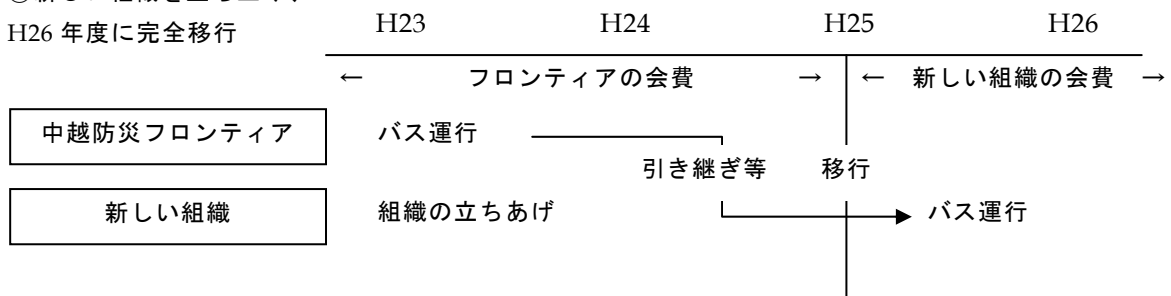
現在、クローバーバス運営に関する事務局は、NPO 中越防災フロンティアが H25 年度までの期限付きで運営しているが、公益法人改革等の諸事情もあり、北陸建設弘済会からの人的支援や経済的支援が停止する。そのため、できるだけ早く地域住民主体による運営に移行したい。

	フロンティアの運営				地域の運営			
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	...
事務局長	野沢	木村	青木	齋藤				
事務局	大堀 山崎	木村	星野		事務局			
団体賛助会員	100万円							

スムーズに移行したい
大口の会費も減少

※参考：運営移行のパターン

①新しい組織を立ち上げ、
H26 年度に完全移行



②今からフロンティアと協働し徐々に移行
H23

